［ YMG在宅支援総合センター ］

YMG居宅介護支援センター新横浜

管理者　齋藤　佐知子

1 業務体制

●人員構成（2025年４月１日～2026年３月31日）

職員数		2025年度（対前年度）		
2024	2025	増員	減員	差引
5	4	0	1	−1

【資格保持および認定資格取得者】

・介　護　福　祉　士（既取得者３名）
・介 護 支 援 専 門 員（既取得者４名）
・社　会　福　祉　士（既取得者１名）
・主任介護支援専門員（２名）

2 業務内容

1. 居宅サービス計画の作成
2. サービス事業者との連絡調整
3. 居宅介護サービス計画の実施状況の把握
4. 市町村への連絡・調整など
5. 介護保険施設の紹介その他便宜の供与

3 業務状況

2025年度は５月に常勤職員の退職があり、新規の受け入れが積極的にできない状況にあった中、ケアプランデータ連携システム導入により、業務効率化が実現し、１人あたりの担当件数上限が更に拡大されたので、調整しながら新規相談を再開してきた。

前年度と比較し新規件数半分、終了件数同等数あり、医療系事業所の特徴であるスピード感を持ったアセスメントとプラン立案を実施。また外部研修にも積極的に参加し、個人の医療的知識や社会資源知識、援助技術力の向上に努めている。

介護更新や新規依頼において要支援認定を取得された利用者のケアマネジメント提供にも引き続き取り組んでおり、2025年12月から1.3倍の増加数となっている。地域包括支援センターとの連携頻度が増え、地域住民や家族からの直接相談も増え、地域に役立つ資源として認知されるような活動を継続している。

特定事業所として、地域の居宅事業所との合同勉強会の参画や地域の包括主催の研修会などにも積極的に参加し、知識と経験値及びケアマネジメント技術を上げ、地域包括ケアシステムのひとつとして機能していくよう、意識して活動している。

4 特に力を入れたこと

●利用者数の維持

新規依頼の対応と要支援認定者の継続的ケアマネジメント

●地域との連携

・入院時等の情報連携
・連絡会や地域交流の研修への積極的参加
・合同事例検討会参画
・支援困難ケースの担当

5 今後の課題

・地域とのネットワーク作り
・介護支援専門員の資質向上
・職員の育成と定着

■居宅介護支援統計

●利用者の状況

単位：人

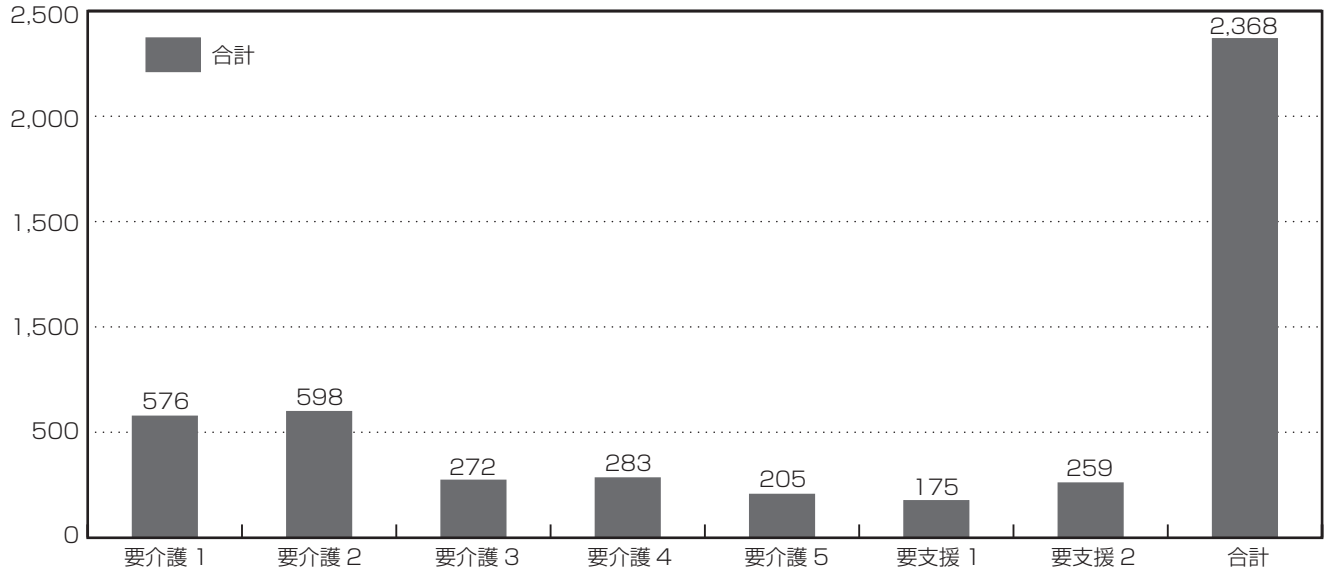
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
利用者数	212	198	188	180	187	186	172	168	179	177	183	180	2,210	2,271
新規利用者数	6	6	2	6	1	1	2	3	8	3	3	7	48	118
利用終了者数	14	23	7	1	4	7	5	3	6	0	1	9	80	80

●年齢別・介護度別利用者数

単位：人

	～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～	合計	前年度
要介護1	1	0	4	9	24	24	62	53
要介護2	1	3	4	9	16	16	49	50
要介護3	0	1	2	5	5	5	18	26
要介護4	0	2	2	8	5	5	22	22
要介護5	1	1	1	2	6	6	17	17
要支援1	0	0	1	3	10	3	17	4
要支援2	1	1	3	7	12	6	30	7
合　計	4	8	17	43	78	65	215	179

●月別・介護度別利用者数



単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度合計	前年度月平均
要介護1	55	54	46	46	46	47	47	47	46	46	48	48	576	48.0	530	44.2
要介護2	58	56	51	51	52	52	51	51	46	43	45	42	598	49.8	569	47.4
要介護3	29	30	26	25	24	22	18	18	21	18	19	22	272	22.7	288	24.0
要介護4	26	27	27	25	23	22	22	22	23	23	21	22	283	23.6	307	25.6
要介護5	20	20	18	16	17	17	17	17	16	16	15	16	205	17.1	234	19.5
要支援1	14	13	15	14	14	13	14	14	15	16	16	17	175	14.6	153	12.8
要支援2	20	18	17	19	18	19	19	22	24	26	27	30	259	21.6	190	15.8
合　計	222	218	200	196	194	192	188	191	191	188	191	197	2,368	197.3	2,271	189.3